

待降節第3週 主日礼拝

2019年12月15日 第一礼拝(午前8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 夕拝(午後7:30～)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『エペソ人への手紙』2章8-10節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌7「主のみいと」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	
感謝の賛美	新聖歌67「わが心は」	—	同
聖書朗読	『ルカの福音書』1章26-56節(新約106頁)	司会者	
黙想	—	同
説教	「召し出され、分かち合う」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌233「驚くばかりの」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	小林 洋子姉	
諸案内	(来信・集会案内)	—	同
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	司会者	
※頌栄の賛美	新聖歌60「天地こそりて」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)
(演奏機の曲は、楽譜と違う表現で流れる事があります)

第一礼拝	説教：近伸之牧師 司会	音響：片山 勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
司会	会：片山 勝三兄 会：笹川 清子姉 (長谷川睦子姉)	映像・音響：片山 浩司兄 山岸あけみ姉	C S 担当：片山 初子姉
集		説教の録画：近伸之牧師	※掃除当番は右表参照

分かち合いのためのメッセージガイド

1. マリヤが危険を冒してまでエリサベツに会いに行ったのはなぜでしょうか。
2. 教会を意味するギリシャ語「エクレシア」は「召し出された者たち」という意味です。神様があなたを召し出してくださったのは何のためでしょうか。
3. 今、あなたが与えられている恵みを振り返り、その恵みを誰かと分かち合しましょう。

今週の暗唱聖句

「私のたましいは主をあがめ、私の霊は私の救い主である神をたたえます」
(『ルカの福音書』1章46、47節)

個人、団体からの来信

2019年12月15日

新潟聖書学院、山形恵みキリスト教会、村上福音キリスト教会、林 武史宣教師より時節の来信／希望の園NL第70号および「クリスマスご寄付のお願い」／浦河教会よりクリスマス献金のお願い／同盟・伊達福音教会より、リーフレット／アンテオケ宣教会より「アンテオケサポーターズ通信」第1号

先週の集会出席者数

12/8(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計- 成人男性- 幼児女子1 小学女子2 中学女子- 高校女子- 女児計3 成人女性1		
	第一礼拝	男2 女2	12/9(月) 書道教室	男2 女5(求1、心和さんも参加)
	第二礼拝(子ども)	男12 女17 男児2 女児5	12/9(月) 月曜家庭集会 12/11(水) 新潟山形僚禱会	男2 女4 男4 女5
	※都合により夕拝は休会		12/13(金) シャベリ場夕ビタ	男- 女2
			12/13(金) 金曜祈禱会	男2 女4

諸集会のご案内

	※月に一回、書道教室を開催。		
月曜家庭集会	(休会)	山崎岩雄兄宅	
救禱会	12/18(水) 午後7:30	教会堂	司会：横堀 正美兄
シャベリ場夕ビタ	12/20(金) 午後1:30	渡邊智子姉宅	問合せ先：渡邊 智子姉
金曜祈禱会	12/20(金) 夜	教会堂	

12/22(日) 待降節第4週

第一礼拝	(クリスマス礼拝に合流)		
教会学校	(クリスマス礼拝に合流)		
クリスマス礼拝 午前10:00	司会：片山 健司兄 集会：長谷川睦子姉 (山岸あけみ姉)	映像・賛美：賛美チーム他 録音・音響：片山 勝三兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：笹川 清子姉 ※掃除当番は下表参照
教会学校奉仕	12/1[近牧師] 12/8[佐藤兄] 12/15[片山姉] 12/22[礼拝に合流] 12/29[近牧師] 1/5[佐藤兄]		
掃除当番順	12/1[横堀姉] 12/8[渡邊姉] 12/15[猪爪姉] 12/22[初子姉] 12/29[小林姉] 1/5[調整中]		
主日の予定	正午よりお祝い会 (進行：笹川姉、愛花さん、祈詩さん、美来さん)		
夕拝 午後7:30	12/15 [夕拝] 『コリント人への手紙 第一』4章6～13節 12/22 [特別礼拝] 『ヨハネの福音書』15章13～16節		

報 告

1. 本日の予定
待降節第三週目の主日礼拝を行いました。みことばの恵みに感謝します。この後は昼食をいただき、午後2:00よりカナンでのキャロリングをもちます。キャロルや子どもたちの劇を通して、御子のお誕生を分かち合う時となりますように。
2. クリスマス諸集会の予定
12月21日(土) 午前中 有志にて、スマイルホームを訪問
午後 有志にて、ながうらの郷を訪問
12月22日(日) 午前10:00よりクリスマス礼拝、正午よりお祝い会 (どなたでもご参加ください)
12月24日(火) 午後7:00 クリスマス燭火礼拝 (どなたでもご参加ください)
3. 先週の来会者
12月8日(日)第二礼拝に、小森和男さんが出席されました。
- 4.

便利ではあるけれど始末に困るものに、プラスチックがあります。さびない、腐らない、虫も食わない、燃えにくい、しかし燃やすとダイオキシンが…ということになって、役に立っているうちはよいが、無用になったとたんに処分にハタと行き詰まるというわけです。海に捨てたビニール袋が何年たっても消滅しないで、海の生き物に大きな影響を与えるということも言われています。

高貴で有益な存在であってこそ不朽も望ましいのですが、醜悪、無益、有害なものが不朽ではたまりません。秦の始皇帝といえ、不老不死の仙薬を求めたことで有名ですが、彼はまた、悪名高い専制君主でもあったようです。ご本人は天下がことごとく意のままになるのですから、いつまでも生きたかったでしょうが、人民はこんな皇帝に不死になられたのではやり切れません。仙薬探しは失敗しましたが、たとえあったとしても、家来たちはこんな暴君にいつまでも生きられてはたまらないので、「なかった」と報告したかもしれません。

人間には誰にも生きる権利があり、そして少しでも長く生きたいという願望があります。しかしそれとともに、人々からあの人にはいつまでも生きてほしいと思われるような生き方をする責任もあるだろうと思うのです。この責任には気がつかないで、権利ばかりを振り回して長く

生きたいと願うのでは、不老長寿もとんだ悲劇になりかねません。

医学の進歩、平和な社会は、今日のような高齢化社会を出現させました。お年寄りが増えれば、文句なくおめでたいはずなのに、問題はそう簡単ではないようです。人生、ただ物が豊かで長生きできればいいというだけではなく、人間はもっと、質的に豊かな世界で生きたいと願っているのではないのでしょうか。

聖書で言う「永遠のいのち」というのは、単に人生の量的な、時間的な延長のことではありません。ねたんだり、恨んだり、また憎まれたり、嫌われたり、欲に引きずられたり、誘惑に負けたり、情けない人生をただ引き延ばすだけでしたら、永遠のいのちも魅力がないではありませんか。

神様のくださる永遠のいのちとは、単なる量的な、時間的な延長を意味するのではなく、人生の質的ないのちなのです。神はそのひとり子を世に送り、私たちの罪の身代わりとして十字架につけることによって、私たちの罪を赦して、罪から救い、滅びるほかない無益有害な生き方から、新しい生き方へと生まれ変わらせてくださる、これこそ聖書の言う永遠のいのちの内容で、それが信じる者すべてに与えられるというのが聖書の約束なのです。



樹のうろの藪柑子にも実の一つ
飯田蛇笏

藪柑子(ヤブコウジ)は高さ10~20センチの常緑低木で山地の木陰に地下茎を伸ばして群生し、冬、光沢のある葉の間に丸い小さな赤い実をつける。なりは小さくとも存在感のあるもの、あるいは暗い中に光を灯すものとして、多くの俳人に詠われている。「藪柑子夢のなかにも陽が差して」(櫻井博道) 「城山に海の日とどく藪柑子」(棚山波朗)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



12/21(土) クリスマス番組

イスラエルシリーズ「イエス・キリストの生涯をたどる旅」

シリーズでお届けしている「イエス・キリストの生涯をたどる旅」。このシリーズでは、福音歌手の森祐理さんが聖書の記述をたどりながらイエス・キリストが実際に生まれ育ち、活動したイスラエルの町々を訪ねます。今回は、イエス・キリスト誕生の地・ベツレヘムの町を再び訪ね、クリスマスがなぜ世界中で、祝われるようになったのかを紹介します。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGIN。ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。

2019年度教会目標 「次世代への継承」

父母の信仰を子どもたちに伝えよう。キリストを信じて生きる幸いを次世代に引き継ごう。

「あなたに仕えているヌンの子ヨシュアが、そこに入るのだ。彼を力づけよ。彼がそこをイスラエルに受け継がせるからだ」(申1:38)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.sblo.jp>

